

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	浄化センター所長	永田 直樹
都整-48 汚水排水施設整備事業(特別会計)	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	浄化センター
	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	下水道河川課
総合計画上の位置付け	分野	下水道・河川	施策の方針
			下水道の整備・管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	生活環境の改善及び公衆衛生の向上に寄与し、公共用水域の水質の保全に資するため。
効果	下水道の整備に伴い、川や水路の水質を改善する。

2 平成27年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化した汚水中継ポンプ場(極楽寺、東部、南部)の機械・電気設備等の改築については、年度内の完了できないため、翌年度に繰越しを行った。 ・山崎下水道終末処理場用地が新ごみ焼却施設の最終候補地として方針決定されたことに伴い、ごみ焼却施設の立地を前提とした、施設の配置、動線計画等について検討を行った。 ・前年度からの繰越明許費により、老朽化した汚水中継ポンプ場(極楽寺)の機械・電気設備等の改築を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	121,500	118,000		当初予算(千円)			
	国県支出金	59,250	57,000		国県支出金			
	地方債	14,772	55,250		地方債			
	その他	943	4,126		その他			
	一般財源	46,535	1,624		一般財源			
事業経費運営	人員配置数	1.4	1.4		人員配置数			
	人件費(千円)	10,402	10,543		人件費(千円)			
	総事業費(千円)	131,902	128,543		総事業費(千円)			
	市民1人当りの経費(円)	743	725		市民1人当りの経費(円)			
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○. 負担導入済 ○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 ・津波被害を受ける可能性の高い施設の防水対策を講ずるとともに、持続型下水道幹線再整備計画に基づき、将来的に中継ポンプ場の廃止を目指す。 ・汚水中継ポンプ場の改築更新は終了したので、今後は、市内58箇所ある汚水低地ポンプ施設の予防保全型の整備計画を進める。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	国庫補助事業の活用を図りながら計画的に進める。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 施設の適正な運営・維持管理に努める。 老朽化した施設の改築更新を行う。 	
課題解決のために行った平成27年度の取組	改築工事に際し、効率の良い最新機種を採用して維持管理費の削減を図った。平成27年度は、極楽寺・東部・南部の各ポンプ場について改築事業を進めた。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> 繰り越し事業となった案件の早期竣工を目指す。 今後も適正な維持管理に努めつつ運転管理経費の削減にも努めていく。 	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方										

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方							

● 事業に関する特記事項

<input checked="" type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---	---